

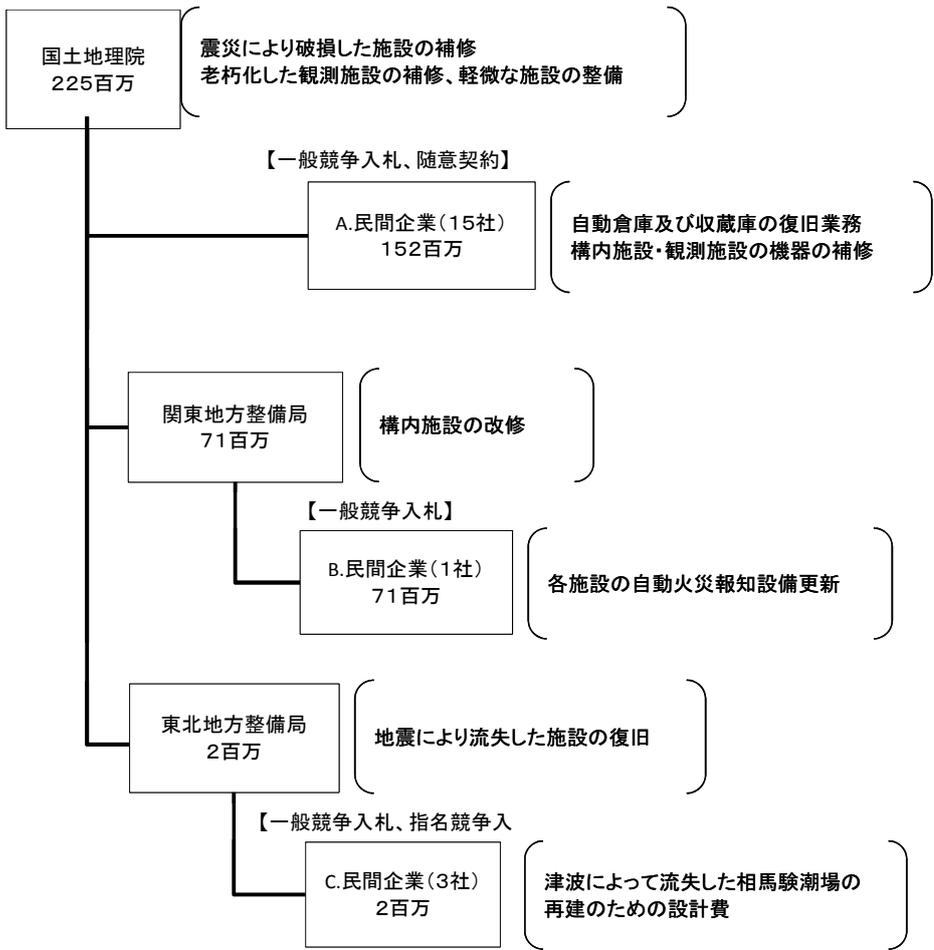
平成24年行政事業レビューシート

(国土交通省)

事業名	国土地理院施設整備に必要な経費		担当部局庁	国土地理院	作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	S53～		担当課室	企画部企画調整課	課長 佐藤 潤		
会計区分	一般会計		施策名	-			
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-		関係する計画、 通知等	-			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度 以内)	国土地理院が使用する施設の維持及び東日本大震災により被害を受けた施設の復旧のため必要不可欠な施設の改修を行い、土地の測量と地図の調製に関する唯一の国家機関として国土の管理、領土の明示に関する情報の安定的な提供を図る。						
事業概要 (5行程度以内。 別添可)	老朽化した施設や耐用年数を迎える施設の更新及び東日本大震災により損壊した施設の改修など真にやむを得ない施設の改修を実施。 ・つくば32mVLBIアンテナ装置(副反射鏡支柱)の補修 ・SINET4用高速ネットワーク回線の整備 ・高精度自動験潮儀の更新 ・自動火災報知設備更新 ・験潮場の復旧 ・自動倉庫及び収蔵庫の復旧業務 ・地図と測量の科学館「日本列島球体模型」修復						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・ 執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求
		補正予算			209		
		繰越し等	△ 22	20	△ 29	98	
		計	123	112	246	161	
	執行額	121	109	225			
	執行率(%)	98.4%	97.3%	91.4%			
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	施設の維持等のための経費であり、成果目標及び成果実績(アウトカム)を定めて実施するという性質のものではない。			成果実績			
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	施設の維持等のための経費であり、活動指標及び活動実績(アウトプット)を定めて実施するという性質のものではない。			活動実績 (当初見込み)			
単位当たり コスト	-		算出根拠	事業単位当たりのコストの概念が当てはまらない			
平成 24 ・ 25 年 度 予 算 内 訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	施設整備費	63	62				
計	63	62					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	－	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	地図と測量に関する唯一の国家機関として国土の管理、領土の明示に関する情報を安定的に提供するために国の責務として実施すべき優先度の高い事業である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	事業目的に沿って予算の執行しており、その執行状況等を適切に把握・確認している。請負契約の発注方法は、一般競争入札を原則とし、透明性・公平性・競争性の確保に努めている。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	－	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	改修を実施した施設は、十分に機能を発揮している。
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	－	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	－	※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<ul style="list-style-type: none"> 引き続きコスト削減に努めながら、確実に実施していく必要がある。また、これまでと同様に契約方式についても、透明性・公平性・競争性の高い発注方法・発注先の選定に努める。 予算の執行状況等について、支出委任先の地方整備局を通じて確認し、事業の効果的・効率的な実施に努めている。 また、資金の流れの検証ができるよう、工程管理を通じて実施内容、支出先及び使途について明確に確認できるよう適宜確認を行っている。 		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	引き続き、必要最小限のものに限定し、さらに重点化の上行。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
縮減	チームの所見を踏まえ、優先度の精査及び重点化を行い、必要最低限のものに限定し行う。		
補記（過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	452	平成23年行政事業レビュー	426

※平成23年度実績を記入



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)(単
位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.大塚オーミ陶業(株)東京支店			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	「日本列島球体模型」の修復作業	54			
計		54	計		0
B.タツノ電気(株)			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	自動火災報知設備更新	71			
計		71	計		0
C.(株)あい設計			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	相馬験潮場外構造設計業務	1			
計		1	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	大塚オーミ陶業(株)東京支店	地図と測量の科学館「日本列島球体模型」修復作業	54	1	100%
2	アンリツ株式会社	精密周波数標準装置購入	25	2	68%
3	(株)イトーキ 茨城支店	自動倉庫及び収蔵庫の復旧業務	19	3	67%
4	(株)ダイフク 東京本社	資料自動検索機設備システム(空中写真フィルム)の復旧業務	16	1	98%
5	ティアック(株)	験潮自動化集中管理システムの改造(高精度自動験潮儀の更新)	13	1	100%
6	NTT-ATテクノコミュニケーションズ(株)	SINET4用高速ネットワーク回線の整備	12	1	97%
7	日本電気(株)茨城支店	つくば32mVLBIアンテナ装置(副反射鏡支柱)の補修	5	1	100%
8	(株)東洋製作所	改修(研究棟屋上空冷チラー)	3	6	76%
9	(株)オーテック システム事業部 東関東支店	修繕(宇宙測地館空調機自動制御機器)	2	3	97%
10	平成理研(株)茨城営業所	修繕(軟水装置)	1	随意契約	-

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	タツツ電気(株)	自動火災報知設備の更新	71	7	94%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)あい設計	相馬験潮場外構造設計業務	1	2	92%
2	川崎地質(株)	小名浜港湾合同庁舎(11)外1件敷地調査	0	10	55%
3	(株)金丸建築事務所	秋田法務総合庁舎外建築積算業務	0	10	88%
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					